

自由・正義・公正



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

(i) 正義について考える

Work トロッコ問題について考える

正義について考える際に有名な思考実験で「トロッコ問題」という話がある。制御が効かない暴走トロッコの進む先には5人の作業員がいる。あなたは線路を切り替えるレバーを引くことができるが、もしそれを引いた場合には変更先の線路に1人の作業員がいるという状況。あなたはレバーを引くかどうか行動しかできず、線路上の作業員は必ず犠牲になってしまうとして、どちらの選択をしますか…?という問題である。つまり5人の命 or 1人の命を選択するということだ。

STEP1 どちらを選択しますか → [A:レバーを引く ・ B:レバーを引かない]

STEP2 なぜそう考えましたか (自分が選択した方を記入する)

A を選択 []
B を選択 []

いずれも正解ではないが、それぞれの考え方で各々の道德観が見えてくる。

A を選択した人は、自分が行動を起こしてでも1人の命より5人の命を優先させたということであり、行為の内容よりも、より多くの命を救ったという結果を重視したことになる。



この考え方を^[1] []といい、イギリスの^[2] []が唱えたことで有名である。

それに対し B を選択した人は、どんな理由でも意図的に命を奪うことはいけない「**義務論**」に近い考え。これは^[3] []により提唱されたもので、結果ではなく過程が道徳的であることを重視する。

この思考実験はアメリカでは[]が圧倒的多数になる事が多いそう。日本の大学生も[]が優勢になるが話し合いを通して[]の方に偏る傾向にあるらしい。国によって結果が変わるのはなぜだろう。

+ α問題 臓器くじ (英哲学者:ジョン・ハリス考案)

トロッコの派生問題としてもう1問考えてみよう。この制度は、公平なくじ引きでランダムに1人選び殺す。その人の臓器を全て取り出し、臓器移植が必要な人々に配るというもの。1人は犠牲になるが、移植を必要としていた多くの人々が助かる。これは倫理的に許されるだろうか?

STEP1 どちらを選択しますか → [A:臓器くじを肯定する ・ B:臓器くじを否定する]

STEP2 なぜそう考えましたか (自分が選択した方を記入する)

A を選択 []
B を選択 []

このくじに当たる人を、凶悪犯罪者に限定するとしたらあなたの考えは変わるだろうか?

トロッコ問題と臓器くじの違いはどんな点にあるだろうか?

(ii) 正義とは何か

正義 = 正しいこと。不正なことをはかるものさしのこと。

人^[4]]: 生きるために他人を傷つけてよい自由が許されるのならば、人々は恐怖に襲われる。
人々が幸せに過ごすためには正しい・不正のルールを定め、互いに守る必要がある。

人^[5]]: 正当な理由がなく優遇されたり処罰されることは、正義に反すると説いた

正義 {
・^[6]]…財産や名誉を各人の能力や成果に応じて分けること
・^[7]]…損害を与えたものが、同等の弁償をすること

人 **ベンサム**: イギリスの哲学者、功利主義の創始者 「最大多数の最大幸福」

より多くの幸せを生み出すことが道德の基準であり、より多くの幸せを生み出す行為が“**正義**”とされる。

人 **カント**: ドイツの哲学者 「無条件に正しい行為を実践する意志が重要」

目の前に苦しんでいる人がいる場合、「(ほめられたいから) 助ける」という時点で間違い。

名誉や報酬のために動くのではなく、「困った人は助けるべき」という無条件に正しい意志に従うことが正義。

人は殺していけない、嘘はついていけない、約束は守るなど、人として行うべき義務(=^[8])を
道德の基準とした。結果よりも動機が大事という考え方である。

人^[9]]: アメリカの倫理学者 「公正としての正義」

社会において、一部の人のみが公正(フェア)と感ずること、もしくは一部の人がだけ公正を感ずることは
問題であるとして、全ての参加者が互いに公正と感ずるルールであるときに真の正義が現れると考えた。

地位や性格、能力など自分自身の情報を何も知らない状態(=^[10])を想像し、
その上で皆がよい人生を送るための適正なルールを決めていくことを求めた。



人^[11]]: インドの経済学者

不平等の是正には、それぞれの状況や身体能力に基づいた細やかな配慮が必要とした。

「大人と子ども」「歩く人と車いすの人」など、同じ条件でも同じ自由が保障されるとは限らない。

やろうと思えばできる力(=^[12])を誰もが発揮できる社会こそが、公正な社会と説いた。

Think センが理想とした社会の実現に向けて…

- ・^[13]]: 障がいを持つ人も健康な人と区別されず、同じ生活ができるよう支援すること
- ・^[14]]: 誰もが平等に利用できるよう設計された道具や施設

Q. この道具はどんな点が工夫されているだろうか？



(1) シャンプー容器



(2) カッターナイフ

(1)

(2)

自由・正義・公正



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

(i) 正義について考える

Work トロッコ問題について考える

正義について考える際に有名な思考実験で「トロッコ問題」という話がある。制御が効かない暴走トロッコの進む先には5人の作業員がいる。あなたは線路を切り替えるレバーを引くことができるが、もしそれを引いた場合には変更先の線路に1人の作業員がいるという状況。あなたはレバーを引くかどうか行動しかできず、線路上の作業員は必ず犠牲になってしまうとして、どちらの選択をしますか…?という問題である。つまり5人の命 or 1人の命を選択するということだ。

STEP1 どちらを選択しますか → [A:レバーを引く ・ B:レバーを引かない]

STEP2 なぜそう考えましたか (自分が選択した方を記入する)

A を選択 [より多くの命を救うことができる]
B を選択 [命の数は問題ではなく、レバーを引いたことにより命を奪うことが問題]

いずれも正解ではないが、それぞれの考え方で各々の道德観が見えてくる。

A を選択した人は、自分が行動を起こしてでも1人の命より5人の命を優先させたということであり、行為の内容よりも、より多くの命を救ったという結果を重視したことになる。この考え方を^[1] **功利主義**]といい、イギリスの^[2] **ベンサム**]が唱えたことで有名である。



それに対し B を選択した人は、どんな理由でも意図的に命を奪うことはいけない「**義務論**」に近い考え。これは^[3] **カント**]により提唱されたもので、結果ではなく過程が道徳的であることを重視する。

この思考実験はアメリカでは[A]が圧倒的多数になる事が多いそう。日本の大学生も[A]が優勢になるが話し合いを通して[B]の方に偏る傾向にあるらしい。国によって結果が変わるのはなぜだろう。

+ α問題 臓器くじ (英哲学者:ジョン・ハリス考案)

トロッコの派生問題としてもう1問考えてみよう。この制度は、公平なくじ引きでランダムに1人選び殺す。その人の臓器を全て取り出し、臓器移植が必要な人々に配るというもの。1人は犠牲になるが、移植を必要としていた多くの人々が助かる。これは倫理的に許されるだろうか?

STEP1 どちらを選択しますか → [A:臓器くじを肯定する ・ B:臓器くじを否定する]

STEP2 なぜそう考えましたか (自分が選択した方を記入する)

A を選択 [トロッコ問題と同じで、より多くの命を救える方が正義]
B を選択 [より積極的に人命を奪う行為であり、あってはならない]

このくじに当たる人を、凶悪犯罪者に限定するとしたらあなたの考えは変わるだろうか?
トロッコ問題と臓器くじの違いはどんな点にあるだろうか?

(ii) 正義とは何か

正義 = 正しいこと。不正なことをはかるものさしのこと。

人 [4] **ホッブズ**]: 生きるために他人を傷つけてよい自由が許されるのならば、人々は恐怖に襲われる。
人々が幸せに過ごすためには正しい・不正のルールを定め、互いに守る必要がある。

人 [5] **アリストテレス**]: 正当な理由がなく優遇されたり処罰されることは、正義に反すると説いた

正義 {
・ [6] **配分的正義**]…財産や名誉を各人の能力や成果に応じて分けること
・ [7] **調整的正義**]…損害を与えたものが、同等の弁償をすること

人 **ベンサム**: イギリスの哲学者、功利主義の創始者 「**最大多数の最大幸福**」

より多くの幸せを生み出すことが道德の基準であり、より多くの幸せを生み出す行為が“**正義**”とされる。

人 **カント**: ドイツの哲学者 「**無条件に正しい行為を実践する意志が重要**」

目の前に苦しんでいる人がいる場合、「(ほめられたいから) 助ける」という時点で間違い。

名誉や報酬のために動くのではなく、「困った人は助けるべき」という無条件に正しい意志に従うことが正義。
人は殺していけない、嘘はついていけない、約束は守るなど、人として行うべき義務(=[8] **定言命法**])を
道德の基準とした。結果よりも動機が大事という考え方である。

人 [9] **ロールズ**]: アメリカの倫理学者 「**公正としての正義**」

社会において、一部の人のみが公正(フェア)と感ずること、もしくは一部の人がだけ公正を感ずることは
問題であるとして、全ての参加者が互いに公正と感ずるルールであるときに真の正義が現れると考えた。

地位や性格、能力など自分自身の情報を何も知らない状態(=[10] **無知のヴェール**])を想像し、
その上で皆がよい人生を送るための適正なルールを決めていくことを求めた。



人 [11] **セン**]: インドの経済学者

不平等の是正には、それぞれの状況や身体能力に基づいた細やかな配慮が必要とした。

「大人と子ども」「歩く人と車いすの人」など、同じ条件でも同じ自由が保障されるとは限らない。

やろうと思えばできる力(=[12] **潜在能力**)を誰もが発揮できる社会こそが、公正な社会と説いた。

Think🗨️ **センが理想とした社会の実現に向けて…**

- ・ [13] **ノーマライゼーション**]: 障がいを持つ人も健康な人と区別されず、同じ生活ができるよう支援すること
- ・ [14] **ユニバーサルデザイン**]: 誰もが平等に利用できるよう設計された道具や施設

Q.この道具はどんな点が工夫されているだろうか？



(1)シャンプー容器



(2)カッターナイフ

(1) **ふたの上に点線が付いており、リンスと区別できる
視覚障害や子どもに対応**

(2) **刃を出すスライドが上部にあり、左利きの人も使いやすい**